



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和3年9月2日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

2学期のスタートにあたって

校長 小川 高弘

37日間の夏休みが終わり、1年で一番長い2学期がスタートしました。7月12日に出された緊急事態宣言が2度延長され、結局夏休み中が緊急事態宣言下となり、多くのことが制限された夏休みになってしまいました。

報道でもご存じの通り、新たな変異株（デルタ株）は従来よりも感染力が強いとされ、本市においても小・中学生の感染者が増加の傾向にあります。本校としましても、これまでの感染対策に加えて、不織布マスクの推奨、ハンカチ等の持参の徹底、校内での密を防ぐための床のマーキング等の感染対策を一層徹底して、教育活動を継続させていきます。部活動につきましても、感染対策を再度確認するとともに、活動内容や方法を見直し、活動日数を短縮することとしました。大会等の参加には、保護者の同意書が必要になります。ご協力をお願いいたします。

東久留米市教育委員会より、緊急事態宣言中の修学旅行については、延期または中止という指針が示されています。東京都の緊急事態宣言が再延長されたことに加えて、京都府にも緊急事態宣言が出されたため、9月4日出発予定の本校3学年の修学旅行は見送ることとしました。延期または中止、延期する場合の日程調整、延期や中止に伴う費用の変更等に関して、校内や市教育委員会とも検討・調整中ですので、もうしばらくお待ちください。また、9月24日に予定しています1学年の校外学習についても、緊急事態宣言の状況によって延期の場合もありますので、ご了承ください。

開催に関しては、様々な意見があった東京2020オリンピック・パラリンピック大会でしたが、競技自体は興奮と感動にあふれ、24日に開幕したパラリンピックも9月5日に閉会式を迎えます。

以前、車いすバスケットボールをプレイしたことがありました。コートの高さもゴールの高さも一般のバスケットボールと同じですが、必要なスキルは全く別のものでした。車いすを動かすだけで腕が痛くなり、車いすをこぎながらボールをキャッチできないし、ボールを持っていると移動できない自分にイライラしました。特に、座った状態で、高さが同じゴールへのシュートはなかなか届かず、3ポイントシュートは全く届きませんでした。今回のパラリンピックの選手たちは、軽くシュートを打ち、車いすを自在に操作しているように見えますが、見るとやるでは大違いということを思い出しました。

パラリンピックの父と呼ばれるルードウィッヒ・グッドマン博士はこう言っています。「失ったものを数えるな。残された機能を最大限いかせ。」パラリンピックの場面だけでなく、私たちが日常から失敗したことを考えるのではなく、これからやるべきこと、できることに気持ちを向けていきたいと思います。

感染症に関わる出欠席の取扱いについて

(1) 生徒が感染した場合

- ・出席停止とします。
- ・濃厚接触者の特定は、発症又は検査の2日前までの行動を基に、保健所が判断します。
- ・出席停止の期間は治癒するまでとし、医療機関または保健所の判断に基づきます。

(2) 家族が感染した場合

- ・生徒が濃厚接触者と特定された場合は、出席停止とします。保健所の判断が出るまでの期間は、濃厚接触者としてご対応ください。
- ・接触者であっても濃厚接触者と特定されなかった場合は、接触の範囲を基に、家庭でご判断ください。自宅待機とした場合、出席停止として扱います。

(3) ワクチンを接種する場合

- ・授業のある日に接種する場合、遅刻・早退・欠席の扱いとはしません。
- ・接種後、発熱等の風邪の症状が見られる場合、出席停止とします。

南中生の活躍

- 中学生の主張 東京大会 奨励賞 佐々木 朋美 (3年1組)
- 演劇部
第42回東京都中学校放送コンテスト 団体奨励賞
朗読部門 努力賞 山下俊郎 (2年2組)
- ハンドボール部
第60回東京都中学校総合体育大会 兼 東京都中学校ハンドボール選手権大会
女子の部 第3位
男子の部 2回戦敗退
- 第16回東久留米市中学校スポーツ大会
サッカー部 優勝 優秀選手賞 中島巧琉 (2年1組)
優秀選手賞 鈴木大斗 (2年3組)
優秀選手賞 高橋賢太 (2年3組)
女子バレーボール部 準優勝 優秀選手賞 飯原由宇 (2年1組)
- バドミントン部男子団体Bリーグ 優勝
男子3年ダブルス 優勝 櫻庭一也 (3年2組)・馬場泰地 (3年4組)
準優勝 若林慶次郎 (3年2組)・松原敬尋 (3年4組)
第3位 中野祐己 (3年4組)・千葉那由多 (3年4組)
男子1・2年シングルス 第3位 長井勇斗 (2年1組)
男子2年ダブルス 第3位 奈良岳空 (2年1組)・浅野湘栄 (2年3組)
女子2年ダブルス 準優勝 関口妃奈子 (2年1組)・秋田華凜 (2年2組)
男子1年ダブルス 優勝 田島結人 (1年5組)・明神陽大 (1年5組)
女子1年ダブルス 第3位 田中凜乃 (1年1組)・久保田愛香 (1年4組)
- 卓球部 男子1年シングルス 優勝 若宮航輝 (1年4組)
- 女子バレーボール部
久留米カップ 優勝 優秀選手賞 Aチーム 大谷柚稀 (2年1組)
Bチーム 町田桃恵 (2年3組)

